NEXUSプラン

生きる力を育む宇治市の「小中一貫教育」

宇治市版カリキュラム「宇治スタンダード」

小・中学校のそれぞれにおいて完結したものとなっている教育課程について、系統性を高めた義務教育９年間の一貫したカリキュラムを作成します。

このカリキュラムでは、子どもたちの実態、身体面、思考面の発達、そして教育心理学の研究成果などから、９年間を前期（４年間）、中期（３年間）、後期（２年間）のまとまりとしてとらえます。

学年	小１年	小２年	小３年	小４年	小５年	小６年	中１年	中２年	中３年
区分	前　期				中　期			後　期	
ねらい等	学校生活に適応できるよう基本的な生活習慣と学習習慣を確立し、基礎的・基本的な学力の定着を図ります。				小学校生活から中学校生活へのスムーズな移行が図れるよう指導内容や指導方法を工夫改善し、意欲的な学習習慣を育て、学力の充実・向上を図るとともに、社会性や規範意識を培います。			義務教育９年間の総まとめの期間として、個性と能力を伸ばし自己実現に向けた積極的な態度を育て、希望進路の実現をめざします。	

特色ある教育内容

「いしずえ学習」の実施

前期・中期において、全教科の学習基盤である国語・算数の基礎的・基本的な内容を繰り返し学習させ、確実にその内容の定着を図るとともに、家庭学習とも関連付けながら取り組ませることにより、学びの習慣を身につけさせることを目指して、「いしずえ学習」の時間を設けます。

「宇治学」の実施

地域社会の一員としての自覚を持って「ふるさと宇治」を愛し、よりよい宇治を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるため、「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」という考え方に基づく「宇治学」の時間を前期の後半から設けます。

「小学校英語活動」の実施

前期からＡＥＴの活用などによる英語活動を実施し、国語や我が国の文化を含めた言語や文化に対する興味・関心を高めるとともに、積極的に英語によるコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てます。

NEXUS プランの進め方

今後、本プランに基づき、耐震化や老朽化に対応する施設の整備を図るとともに、「小中一貫校」の建設など新しい教育システムに対応できる施設の整備を図ります。

そのために、本市の財政状況を踏まえた上で具体的な実施計画を策定し、これに基づいて計画的に小中一貫教育を推進します。

また、地域と教育委員会が一体となって取り組みを進めるために、この具体的な実施計画に基づき、国・府の動向や社会情勢の変化を踏まえた具体案を作成し、地域住民や保護者への情報公開と情報の共有化を図ります。

NEXUS プランは、宇治市小・中学校のホームページ（http://www.uji.ed.jp/）で全文をご覧いただけます

お問い合わせ先

宇治市教育委員会　教育改革推進課

電 話 0774-22-3141（代表）

FAX 0774-21-0400

E-Mail: kyouikukaikaku@city.uji.kyoto.jp

発　行　宇治市教育委員会　平成 19 年 12 月

ネクサス
NEXUSとは

［New Education］X［Uji System］
新しい教育　融合　宇治のシステム

「連結」や「きずな」を意味する英単語で、今後の宇治市の学校教育がめざす方向として、小学校と中学校の「連結」を強固なものにするとともに、学校・家庭・地域社会の「きずな」を深めることにより、子どもたちが自らの将来を切り拓く力を身に付けるための教育システムを表わしています。

小中一貫教育の推進

今日の子どもたちの状況を見ると、学習意欲の低下、家庭での学習習慣の未定着、自然体験や社会体験の不足、不登校や問題行動など、依然として様々な課題があります。

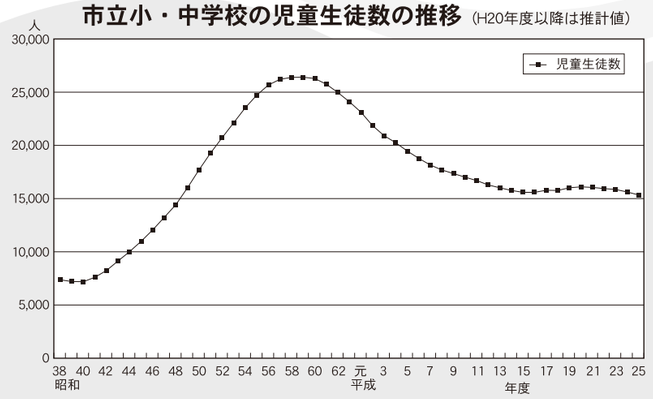
また、中学校への進学に際し、学校での生活のきまりや学習内容、指導などの変化に、戸惑いや負担を感じる児童生徒も少なくありません。

小・中学校間の接続を滑らかにし、小学校入学時から中学校卒業時までの９年間の児童生徒の発達段階に応じた系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行う小中一貫教育を進めます。

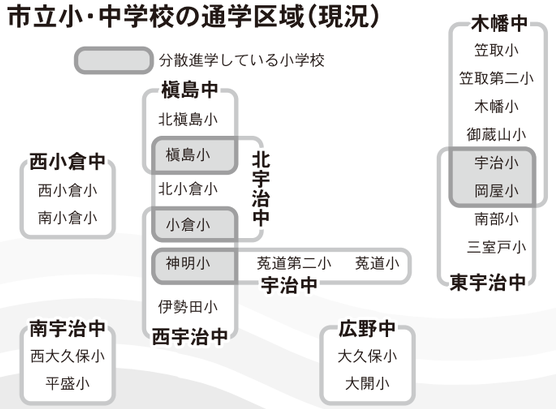
小学校では学年３学級、中学校では学年６学級以上が望ましく、それぞれで過大規模校（３１学級以上の学校）とならない規模が適正であると考え、学年単学級や過大規模の状態が将来的にも続くと予想される場合には、通学区域の変更や学校の統合等を検討します。（笠取小学校と笠取第二小学校については、対象としていません。）

学校規模の適正化

市立小・中学校の児童生徒数の推移（H20年度以降は推計値）



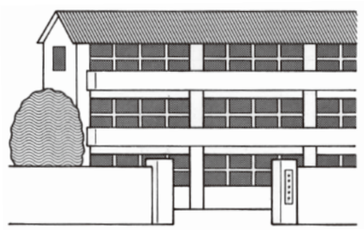
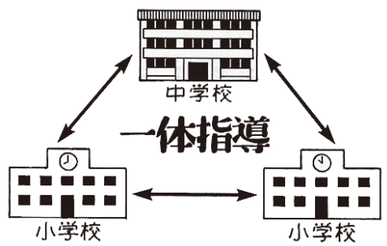
市立小・中学校の通学区域（現況）



学校配置の適正化

将来の就学児童生徒数の推移を的確に把握した上で、通学距離や通学の安全、地域コミュニティに十分配慮し、五つの小学校での分散進学を是正するとともに、小中一貫校や１中学校２～３小学校で形成された小中一貫教育校の形態となるよう通学区域などの再編を行います。

現在の小・中学校を２つの形態に再構築します

	小中一貫校		小中一貫教育校
			
教育課程	９年間の教育課程編成	教育課程	９年間の教育課程編成
指導体制	小中一貫校に配置された教員による９年間を通した一貫指導	指導体制	それぞれの小中学校に配置された教員が積極的な交流を行いながら指導
校舎・敷地	同一敷地	校舎・敷地	校地はそれぞれ独立